

2018年度 特定非営利活動に係わる事業又はその他の事業報告書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

特定非営利活動法人まる

1. 事業実施の成果

- 「新通所施設構想づくり」は、前年度に明らかになった資金面の課題を解決すべく、ある助成金を獲得しようとして外部者の協力を得ながら進めたが、その助成金の要件が想像以上に高いことを知り、それ以上前に進めることができなくなった。その後、大規模な計画よりも、現状の様々な課題解決を優先し実現可能な計画に変更することにした。年度末にはそれらの構想を盛り込んだ「maru 中長期ビジョン案」を上程し、理事会で承認された。次年度はビジョンから計画に、そして確実に実行出来るよう進めたい。
- 前年度より最重要課題としたスタッフ育成。今年度も研修参加の機会づくりなど積極的に行った。外部では、スタッフ階層別に組まれた研修を中心に、合わせて26の研修にスタッフの個別課題に合わせて参加を促進した。内部では、3つのテーマのスタッフ全体研修を企画し実施した。2月末には昨年を引き続き2回目となる「実践報告会」を開催した。工房まるの5グループから利用者に対する日々の実践から1例を取り上げ発表した。来年度は研修の成果をより高めるために、上長との振り返りの場を作りたい。
- 「表現・就労事業」の内容は福祉サービス利用者の生産活動である。利用者の工賃UPを目指し、昨年度の反省をふまえて様々な試みを行った結果、売上は目標に達しなかったものの1,100万円を超え、就労継続支援B型事業の月額平均工賃は1万円を越すことができた。しかし、計画通り、狙い通りということではなかったなど、反省点は様々あり、それらを次年度の活動に活かし、さらに売上を伸ばしたい。
- 「コミュニケーション創造事業」では、厚生労働省の「障害者芸術文化活動普及事業」に申請のところ採択され、「九州障害者アートサポートセンター」を8月に設立し、活動を始めた。九州各地で障害のある人の芸術活動を行っている事業所や団体の実態調査、支援者を対象としたプロデュースやマネジメント力向上のセミナーやワークショップ開催、九州・四国で活動する障害のある人たちの企画展開催、するなどした。共同事業の「(株)ふくしごと」からは、目標としていた事業担当者への役員報酬の配分が行われるとともに、請け負った業務に対する報酬も前年度より増加した。これらによって「コミュニケーション創造事業」の収益は改善。赤字決算であるものの、その金額はわずかであり法人全体としての収益改善につながった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業	生活介護・就労継続支援B型事業の多機能型事業所	毎週火曜日 ～土曜日	工房まる (三宅のatrie) 工房まる (野間のatrie) 工房まる (野方のatrie)	39名	障害者53名	100,100

障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の受託事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0
福祉作業所の運営事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0
障害者の日常生活の様々な状況に応じた支援事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0
障害者の表現活動や就労を支援する事業	当法人が運営する施設での授産活動	毎週火曜日～土曜日	工房まる (三宅のアトリエ) 工房まる (野間のアトリエ) 工房まる (野方のアトリエ)	39名	障害者53名	11,620
コミュニケーション創造事業	障害のある人のアート作品をユーザーと結ぶ事業、障害者アート展覧会開催、障害への理解を広めるフォーラム、障害者施設活動を紹介するイベント開催および啓蒙活動	依頼により随時	福岡市とその近郊	2名	障害者約50名、一般市民約1,000名	8,455
第3条の目的を達成するために必要な指定管理者制度に係わる施設の管理運営受託事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
物販販売事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0